

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	名古屋市中央療育センターすぎのご学園			
○保護者評価実施期間	2025年2月26日		～	2025年3月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数)	22
○従業者評価実施期間	2025年2月26日		～	2025年3月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	難聴児（人工内耳装用児含む）への対応ができる言語聴覚士がいることで、聴力検査や補聴器のフィッティングなど専門性が高い体制となっている。	・ 学齢児ごとのクラスを実施している。	・ 職員の研修参加等を計画を促し、さらにスキルアップを推進する。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもの人数によって、子どもの療育スペースが十分でない	遊戯室が狭い 部屋が不足している 専用の静養室がない	センター全体で活用できるスペースを増やす必要がある 専用の静養室を整備する必要がある
2	難聴児の早期療育が言われている中で、職員体制が十分とは言えない。	・ 職員数が不十分	職員の専門性をさらに高めるとともに、職員数の充実も必要である。
3			